

SERIES 市町村体育協会だより2

平泉町体育協会

平泉町は、岩手県南部に位置し、総面積は63.39㎦と、県内で1番小さな町ですが、年間約170万人の観光客が訪れます。

平成23年度の世界文化遺産登録を目指しながら、「小さくともキラリと光るまちづくり」をすすめております。

平泉町体育協会は、創立以来31年を経て現在15種目別競技団体で構成されており、各競技団体においては競技力の向上と会員の増員を図り、自主事業等を実施しながら町民の生涯スポーツの普及と推進のために活動をしています。

当協会が関わるスポーツ事業としては、23年ぶりに開催された「平泉町民大運動会」があります。町民が一堂に会し、町民相互の親睦と融和を図るスポーツイベントです。今年度は、久しぶりの開催ということもあり1,500名以上の参加がありました。幼児から高齢者まで

幅広い世代からの参加があり、このイベントを通して、広く町民へスポーツの楽しさを伝えることができました。この運動会は、町・町教育委員会の主催事業ではありますが、体育協会傘下団体をはじめ、町内各種団体会員のご協力に支えられながら実施することができました。

また、当協会が年間を通して開催しております「ふるさとオリンピック」があります。14回目を数えた同事業は、町内のスポーツ交流の場としての町民スポーツ大会。町内21行政区の対

抗形式とし、11種目の競技を各種目競技団体等が運営。誰でも参加しやすいニュースポーツ等を取り入れ、順位も競いながら親睦を深めています。

そのほか、当協会では年代別町民駅伝大会を開催しております。小学生から50代以上の年代別ごと7区間で競い合います。本大会は体力増進のみならず、幅広い層の参加者による世代間相互の交流の一躍を担っており、今後も継続して開催していきたいと考えております。



23年ぶりに開催された平泉町民大運動会

平泉町では、平成19年度に総合型地域スポーツクラブ設立準備委員会を立ち上げ、子供たちに運動やスポーツをする楽しさを伝えていくことを目標に設立に向けて取り組んでおります。当協会も設立準備委員会の一員となっており、行政やスポーツ少年団、その他の団体と連携を取りながらすすめております。今後、総合型地域スポーツクラブの支援を含めた生涯スポーツの振興に向けて取り組んでいきたいと思えます。